YH]

主

午後6時半

十二神祇と花火

にあわせて俵神輿を担ぎ、

*大きな俵神輿は150キロ以上あるそうです。 神楽奉納

楽の演目は、

まず御神託、続いて幣舞

秋祭りの前夜、

拝殿での神降し

がは事

から始まります。

代 天照大神が皇孫瓊瓊杵尊(以祭りは一年間で一番大切なおまつりです。 日本人は神

日

祭典

午後2時

八岐大蛇まで14演目あります。###たの#35#の余興舞、最

最後の

午後

高さ約15メート 傘のように火

関・四天・王子・薙刀・歌舞の神祇

露払い・つりざん・合戦・二刀・

!稲穂を授けられてより、

ました。 社に集まり、 つないで来ました。 して秋の収穫を神様に感謝 作を中心に生活を営み、 お初穂をお供え 我々は神 命を

昔は花火を手に持って神楽を舞ってもいました。



河

祈りを捧げ、

よう。

宮司

内

神

社

報

長神輿奉納

昇殿してお参りします。その後、 輿と参加者全員がお祓いを受けます。 朝から河内の各地区を担ぎ歩いた大 総勢9基の俵神輿が境内に集結しま 各町内会・子供会の代表が拝殿に

午後4時 頃

子供は疲れを吹き飛ばし、 木遣り 上棟祭、 歳祝い、 ご予約ください。 現地で… 神社で…

があります。境内いっぱいに吹き上がる火の滝は迫力満点 ル吹き上げる吹き火、 の粉が降り注ぐ傘火の2種類の花火 11時頃に最終演目予定です。 演目の合間には、

団と下河内神 納されます。 楽団があり、 は上河内神楽 今年は上河内 毎年交互に奉 河内地区に

よる巫女舞奉納もあります。

りを行います。

神楽団の奉納

です。

一日は夜店などが出

家内安全な

祈願祭は生活の節目 合格祈願、 初宮参り、厄払い て、 沢山 0) 参拝者で賑わいます。

不明なことや日時、式次第などご相談、 地鎮祭(新築)、家祓い(入居) 開店祭み

車祓い、

安産祈願、

商売繁盛、

安全祈願、

河内神社社務所 (082) 928-2283

勇壮に揉み合います。

11 月 14 15 日 午前9 時~午後

4 時

の年には、氏神様に七五三詣をし 男子3歳・5歳、 女子3歳・7歳

神 ます。お祝いに授かった河内神社 写真をとりましょう。 の千歳飴を持って、ご神前で記念 を感謝し、 て、お子様が無事に成長したこと 更なる成長をお祈りし

ています。右記以外は希望日時を 」相談・ご予約ください。

10月中旬~11月頃まで受け付け

河内神社社務所 (082) 928-2283

3 歳 男 女 平 25 年(2013) 【七五三早見表】 数え年 平成27年版 5歳男 平23 年生(2011)

7 歳 女 平成 **21** 年生

日

日

皆様から奉納されたお初穂と、 した新米や作物を神様にお供えしてお祭 今年の締めくくりの大祭です。氏子の 新嘗祭 12 月 13 今年収穫 午後2時



神様の恩に感謝し、 護をお祈りします。 の ア クセ ス[周辺図



↓八幡方面

河内

神

社

御中小人和大人

// 河 内 神 社 0 皆様の家庭の「パワースポット 御れた

)"神宮大

大麻

を家庭におまつりしましょう。 日本全土を広く見守る神様「天照皇大神」(ロ勢6神宮)の御札 近で生活を見守る地元の氏神様「河内神社」の御札と 思わず神様にお願いした経

河内神社御守護 時、 時、

心した時、 験があると思います。何かを決 嬉しいことがあった ります。

する家庭のより所となります。 直す時など、 また、 大事なことをなそうとする 静かに自分を見つめ 心を込めてお祈り

ましょう。御札・御守必は河内神社で授与しております。 だくため、 御守は氏神様に納め、 新 年を迎えるにあたっては、 御札・御守は新しく取り替えます。 年を無事に過ごせたことに感謝し 新しい力、 新しい命をいた 古い御札、

伊勢の 神宮中大麻 大大麻 2 0 0 0

^{社限定}携行御守 健康長寿·良縁は 結び・就職を 各500円

御ぉ 御ぶれた の まつり 方

重ねる場合

〈照皇大神宮|

(手前)

河内神社

横に並べる場合

天照皇大神宮

崇敬神社

河内神社 崇敬神社

御札の順におまつりします。河内神社、崇敬する神社の 重ねる場合、手前から神宮、

参道 脇 0 がきれ 41

参道脇水路の清掃作業を行いました。 7 月 1 Ē 三和中学校3年生の3名が職場体験として

んだ我が里の子供達。 神域でのふれあい れつきせぬ 河内川』 中学3年、 から 『和魂と行と』 里帰りの職場体験でした。 氏子総代長 の校歌へ進 先本 民治

ご本殿の檜の林から伏流水が絶えることなく流れる神社

さ

石目に根張る雑草を抜き取 の落ち葉の堆積にからみ、 指 0 路 時置かず舞い散る楠



ながれ、

達に、 神域に奉仕の誠を示す彼 第一鳥居も誇らしげ

でありました。将来社会の一員として、その役割を果たし、 流が大きな、 笑顔での作業、 れる手、そしてなによりも頬一杯の 本マナー、そして仕事の厳しさを身 真剣に仕事に向かうために必要な基 ほうきを持つ手、土嚢に不要物を入した企業が受け入れての出向です。 をもって学ぶ職場体験。主旨に賛同 きれいになった神域の水路にまた、 大きな収穫でした。 ふれあう若者との 交

ます。 がら、 伏流水が清らかな音をたて曲がりな 奉仕作業終了後、拝殿の紙進みながらの姿を見せてお 垂でり

こだまさせる境内での一日でありました。 のもと、 隣の学び舎に郷土の子供達が、 合わせ打つ柏手に一 陣の風がよぎりました。 宝たちが、 はじける声 を

かぐら

⑤十二神祇と花火

楽は十二 広島県 れ る。 神祇で、 南 旧 舞は四 西部で伝承される神 すべて旧舞と 方か三方吹放



ある。 に挿む。芸北神楽や石見神楽の旧舞 なびよっとこが活躍する鯛釣りや狐舞など余興舞をあいだ ちの伝統的な舞台に適している。 準とし、 元の人など玄人に好まれる。五刀などの演目がある。また、順序や演技がほぼ決まっており、 る場合は舞台の中央を中心軸とする。 神事的で典雅である。娯楽的要素が少ないため、 後ろ向きも含め、 ほぼ四方に平等に舞う。 (楽的要素が少ないため、滑き五刀などの演目がある神祇! 舞は 口上は古語で簡素で 間四 方の 筋を知る地 広さを基 回転す 稽は舞

きな鬼面などが特徴的である。 塵倫などの演目があり、 は舞いに正面性がある。八岐大蛇、 勇壮で、 大

上河内神楽団は、

明治40年(190

舞う機会は河内神社での2年に1 始めたもので、 7)に有志が下河内神楽団に習って で、 伝統的な十二神祇を伝承する。 源流は同じである。 口

る。 度吹き上がる古式な手詰めの花火や、 必要で、 いた二つの花火が回転する傘火が演目間に行われ人気があ 花火がともなう。現在も上河内神楽団では、 従来は未明まで舞われていた当地方の神楽には、 ただし消防、 また製作費用の面でも維持が困難になりつつある。 警察の許可、 最近は近隣住民 人が支えた棒先に付 15メートル程 への配慮も 元 来

歳祝 厄年って何歳♀▶ 河内神社

上河内・下河内・上小深川・下小深川・藤の木・河内南(彩が丘)の氏神様 河内神社のこよみ 〔平成27年度〕

10 日10日(土) 午後6時半 秋祭前夜祭(神楽

月15日前:

12月13日(日) 午後2時

3 月 13 日(日) -後2時

2月11日(祝) 午前10時 12月3日(木) 午前9時 10時 月11日(日) 午後2時 建国記念祭 (大語 新嘗祭 七五三祭 秋祭(例大祭 社大祭 (大祭)

月²日⁵稲 次⁴供<荷 祭³祭³神

日供祭・月次祭では皆様の日々のご安泰をお祈りしています。 境内の清掃 がすんだ後、 執り 行いますのでご参拝くださ